

FUKU-FUKU



妖怪大集合

たくさん
妖怪が
あつまりました

フクちゃん

横山隆一
(1960年)



7月18日(土)~9月6日(日)
左古文男のクセがつよい妖怪展内参加コーナー

左古文男のクセがつよい妖怪展に来場して下さった皆様が参加コーナー「妖怪掛所」に妖怪絵馬をたくさん掛けてくださいました。その数約450枚!!
予想を上回る数に、コロナ禍の中、楽しんで参加していただけたのかなどほっとしています。本当にありがとうございました。今後も楽しい企画を考えていきますので、是非参加してください。

左古文男の 妖怪展

会期 ● 7月18日(土) ~ 9月6日(日)
場所 ● 横山隆一記念まんが館企画展示室

コロナ禍で開催が危ぶまれた「左古文男のクセがつよい妖怪展」。感染予防対策を講じながらの開催になりました。全国的に企画展などが中止になるなか、心配しておりましたが、たくさんの方にご来館いただきました。

今回の企画展は、四万十市出身のまんが家、左古文男さんの著書『クセがつよい妖怪事典』（小学館2018）の紹介を中心に、クセがつよい妖怪コーナー、さこイズムコーナー、高知の妖怪コーナーの三つに分けて展示しました。

クセがつよい妖怪コーナーでは、『クセがつよい妖怪事典』の妖怪原画全80点を展示しました。クセがつよい妖怪とは、伝承される妖怪の中から、際立つて個性的な妖怪を左古さんが選んだものです。解説では、妖怪の特徴やエピソードを交えて、面白おかしく気になるような内容で説明がなされています。原画ならではの色合いや雰囲気を楽しんでいたただけだとは思いません。

さこイズムコーナーでは、左古さんのまんが家・文筆家としての仕事を展示しました。ストーリーまんが作品や『四万十食堂 おかわり!』（双葉社2018）の中で描かれた幡多地域のお店の人達の似顔絵などを展示しました。



人情味あふれる風景が伝わってくる文章と画が印象的でした。

高知の妖怪コーナーでは、高知にも面白い妖怪がいるので、一緒に展示してほしいという左古さんから

の要望で、高知県に残されているたくさんの妖怪伝承を歴史的資料やまんがで展示しました。高知県立歴史民俗資料館から江戸時代に描かれた『土佐お化け草紙』（複製）をお借りしたほか、四万十漫画倶楽部が手掛けた幡多地域にまつわる妖怪・怪異・あやかしの話をもとめた『幡多妖怪地図』の原画を紹介しました。これらは地元で伝わる妖怪がまとめられているもので、身近なところにも妖怪が伝承されている証拠として大変面白いものでした。

また今回、企画展のために左古さんが描き下ろしたコロナ封じの妖怪画を企画展入り口に展示しました。コロナ禍が収まるように、企画展が無事に終わられるようにとの願いが込められています。江戸時代には流行り病の時、除災の妖怪画が配られたといわれています。それになぞらえて妖怪画シールにして先着200名に配りました。他に、スペシャルインタビューとして左古さんに展示の見どころや妖怪について語っ



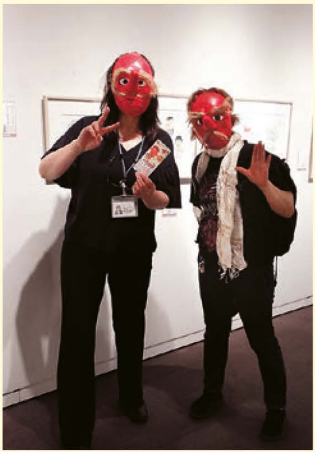
左古さんの描き下ろし妖怪画

ていただいた動画を展示会場とYouTubeで公開しました。

さらに、せっかく来館して下さる方のためには何か楽しいことは出来ないかと、一日限定来館者参加型イベント「8月8日は妖怪の日」を開催。妖怪の仮装(コスプレ)をして来館して下さった方を企画展観覧料半額にしました。当日は職員も妖怪のコスプレをして会場に出現し、来館者と一緒を楽しみました。



前項で紹介している参加コーナー「妖怪掛所」では大人から子どもまで楽しんでお絵かきをしている姿を見ることが出来ました。企画展をたくさんの方々に楽しんでいただけたのではないかと思います。



天狗さまにもご来館いただきました

トピックス TOPICS

まんが館の新型コロナウイルス感染症対策

まんが館ではご来館の皆様にご安心して館内で過ごしていただけるよう、次のとおりご協力をお願いをしています。

- ・非接触式体温計による検温
- ・アルコール消毒液での手指消毒
- ・マスク着用
- ・「もしも」に備えた連絡先の提供

これまでご来館いただいた皆様には快くお引き受けいただき、誠にありがとうございました。

またこのほか、受付へのアクリルパネルの設置、館内の同時滞在人数を調整するため椅子の設置数や場所の変更、閉鎖的スペースであるライブラリー2の読書利用の停止、机や椅子、エレベーターのボタンなど手を触れる箇所の定期的な消毒、貸し出し図書の消毒など、様々な感染症対策を実施しています。

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るう中、今しばらくは感染症対策を続けていく必要があります。ご来館の皆様にはご不便をおかけしますが、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。





勝杏里さん



浪川大輔さん



井上和彦さん

まんさい

2020年 11/7(土)・8(日)

四国最大級のまんがイベント「まんさいーこうちまんがフェスティバル」。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、初のオンライン形式での開催が決定しました。

現在、オンラインならではのプログラム、まんさいならではのコンテンツを実行委員会で検討しています。

また、声優ゲスト第一弾として、井上和彦さん、浪川大輔さん、勝杏里さんの参加が決定！

追加ゲストの情報や、プログラムの詳細、参加申込については、まんさい公式ツイッター (https://twitter.com/mansai_jouhou) とウェブサイト (<http://mansai.org>) にて随時更新していきますので、チェックしてください！



行事報告
REPORT

出張まんが体験イベント 「妖怪を描こう！」

まんが館で毎年開催している「夏休み放課後児童クラブまんが体験イベント」を、本年は直接放課後児童クラブなどを訪問して体験イベントを実施する「出張版」として開催しました。テーマは、「企画展「左古文男のクセがつよい妖怪展」にちなんだ「妖怪を描こう！」です。

左古文男さん曰く、妖怪とは不思議なこと・ものそのものということ、子どもたちには身の回りの不思議なことを思い浮かべ、その不思議に姿かたちを与えてオリジナル妖怪を生み出すことにチャレンジしてもらいました。

この「不思議」を考える作業は常識を疑う柔軟な発想と閃きが必要になるから、子どもには難易度が高いかしら、と思っていたのですが、頭の柔らかい子どもたちにかかればなんのその。もうこんな時間！と焦るときは「妖怪 とけいすらし」が時をずらしてたり、「妖怪 かぜかせ」が読んでいる本を風でめくっていたずらをしたり、実にバラエティに富んだ妖怪たちがたくさん誕生しました。子どもたちが楽しくその想像力を育てている様子、まんが館ではこれからも様々な体験イベントを行っていききたいと思います。



思い思いに妖怪を描く第六小の皆さん



「妖怪 とけいすらし」

開催日	児童クラブなど
8月5日(水)	鏡小学校青少年育成協議会
8月6日(木)	第六小学校放課後児童クラブ
8月11日(火)	昭和小学校第三放課後児童クラブ
8月13日(木)	第四小学校第一放課後児童クラブ
8月14日(金)	小高坂小学校第一・第二放課後児童クラブ
8月21日(金)	十市小学校なかよし学童クラブ

最近の私はカッパ師匠という、まるでまんがの世界から出てきたようなカッパの姿。言わずもなまんがを読み漁って育ってきた。もちろんこの私の視力が悪くなったのも、少年期より隠れて布団の中でまんがを読んでいたためだ。我が家はみんな目がいいのに。まんがといえば、有りそうでなかなか無さそうない出がある。八丁子の頃、上京して一人暮らし、オタク気質の私とは対に集まらない。超絶激レアまんがの数々をとにかく食っていた。しかし私は増える一方のお宝の所蔵に困っていた。下宿の一室はあまりにも狭すぎた。そこですぐ隣を流れていた多摩川の小田急線の橋下が所蔵庫に選ばれたのだ。コンパネを敷き、まんがを山積みし、ブルーシートで包み、トラロープでしっかりと固定すれば完成である。それは誰がどうみても建築資材に違いない。当時は土方をしていたのでそんな風な扱いは慣れていたので。あらゆるものを建築資材風にカモフラージュしていたものだ。四畳半くらいはあったが、まさかアシがお宝まんがの山だとは誰も思わなかっただろうな。その所蔵庫にはとても満足していた。二年程たったある秋、何十年に一度という大雨が降り多摩川が氾濫寸前。巷を騒がせていたアザラシのタマちゃんや川原のゴミ山と共に、その知られざる建築お宝まんが資材は跡形もなく流されてしまったのだ。いってしまっただ。ほろ苦くもすがすがしい光景だった。そんな私から重要なセリフを3つ伝えたい。バカボンのパパの口癖「これでいいのだ」カッパの三平に出てくるタヌキの一言「たやす(ことだ)、そして私カッパ師匠の格言「やればできる」。この3つを肝に銘じてウノミにしておけば、人生はうまくいく。本当だ。次の機会には流されたお宝の内容をお伝えします。以上。



遠藤 一郎
(カッパ師匠)

まんがと私



行事案内
INFORMATION

第16回まんがの日記念・4コマまんが大賞作品展
会期変更のお知らせ

9月8日に募集を締め切った「第16回まんがの日記念4コマまんが大賞」には、今年も多数の応募をいただき、ありがとうございます。例年ならば、10月半ばに入賞者・作品の発表、11月初めに開催される「まんがの日」会場で表彰式を行うこともに入賞作品を展示、11月末ごろから入賞作品に加えて1次審査通過作品や高知県内からの応募作品等を展示する「4コマまんが大賞作品展」の開催というスケジュールなのですが、今年は「コロナウイルス」感染防止のため、様々な催し物がこれまでと違った形で開催を模索してあります。「まんがの日」も例外ではなく、オンラインでの開催を模索しており、そのため4コマまんが大賞の表彰式も行わないこととなりました。そこで今年も、大賞等の発表と同時に作品展を始めることにしました。かるぼーとの年間行事案内では11月28日としていた展示会初日を1か月前倒しし、10月28日に変更して開催します。県内外から寄せられた力作を多数展示する予定ですので、ご期待ください。

トピックス
TOPICS

「まんが甲子園増刊号」

ウェブで開催



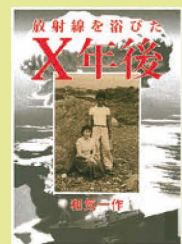
最優秀賞 浅香里桜

今年「第29回」となる全国高等学校漫画選手権大会「まんが甲子園」でしたが、感染症拡大防止のためウェブ開催となり、8月2日に「増刊号」として4時間生配信されました。M.O.O. 念平さん司会の、くさか里樹さんと高校生の大喜利対決、式尉マルコさんのライブドローイング等、通常では競技参加者がゆくりり見るのことができないイベントや、まんが家・声優の方々からの応援メッセージ、県内高校生の黒板アート等が配信され、楽しい増刊号でした。例年は学校（グループ）単位で作品を描く競技ですが、今年も個人応募も可。「新しい生活様式」をテーマに、日本、韓国、シンガポール、台湾の高校生によって描かれた全372点の応募作品はウェブ上で公開され、まんが家審査員の選出と一般閲覧者の投票により20作品が最終審査へ。最優秀賞は静岡県立伊東高校城ヶ崎分校の浅香里桜さん。高知県勢では岡豊高校の相川愛唯さんが、クマヒロオ審査員個人賞に選ばれました。

高知
まんが家
だより

和氣二作さん「放射線を浴びたX年後」を出版

室戸市出身・南国市在住のまんが家、和氣二作さんが「放射線を浴びたX年後」を出版されました。



この作品は、米国が1950年代に太平洋・ビキニ環礁で行った水爆実験で被ばくした高知県内の漁船員たちの約半世紀後の姿を伝える同タイトルのノンフィクションが原作。同郷の幼馴染に勧められて原作本を読み、水爆実験が行われていた頃、現場海域に何度も出漁していた自身の父がその後46歳という若さで胃がんにより他界したことには、放射線が影響していたのかもかもしれないと考えるようになったそうです。「直ちに健康に影響が無い」とされ、政府の調査が打ち切られた被ばくの「X年後」を、当事者として「伝えなければ。描かなければ」という強い決意で描き上げた渾身の一作です。

トピックス
TOPICS

矢野功さん、ありがとうございました



「矢野徳・功兄弟展」のオープニングセレモニーで挨拶をする矢野功さん

去る4月25日、高知市出身のまんが家・矢野功さんが亡くなられました。功さんは高知商業高校二部卒業後、太平洋美術学校「デッサン教室受講」。上京し、プロのまんが家として活躍されました。機知に富んだ1コマまんがを中心に、宮沢賢治などの伝記や仏教童話など、数多くのまんが作品を手掛ける傍ら、日本漫画協会の理事や「地球環境を守る漫画家の会」の代表を務められ、多方面からまんが文化の振興にご尽力されてきました。

横山隆一記念まんが館では、2006年度に龍馬学園創立20周年記念「矢野徳・功兄弟展」を開催し大変お世話になりました。展覧会では、お二人それぞれの代表作の原画を中心に約300点もの作品群を展示しました。功さんの環境に対する強いメッセージを込めた「環境マンガ展」展覧作品や縄文の女シリーズ、歴代総理似顔絵などの個性あふれる作品は、多くの来場者を楽しませてくれました。心よりご冥福をお祈りいたします。

フク話内

朱戸アオのまんが「リウーを待ちながら」を新聞の紹介で知り、読みました。単行本の初版が2017年ですが、カミュの「ペスト」をモチーフに、日本のある町にペストが持ち込まれたという想定で、町をロックダウンさせて伝染病を封じ込めた医療まんが。この2020年に起こっているコロナ差別等と同じ状況が描かれていて恐怖します。現在の日本におけるコロナ感染症は、幸いペストほどの致死率ではないけれど、起こっていることは同じで、驚きます。皆さんにも読んでもらえたらと思い、まんが館のライブラリーにも置きました。(穂)

新着図書 (2020年5月~8月)

- 『鬼滅の刃』1~21巻 吾峠呼世晴
- 『義勇の空』11~12巻 エアーダイブ
- 『信長を殺した男』 藤堂裕 / 明智憲三郎
- 『落第忍者乱太郎』64~65巻 尼子騷兵衛
- 『響〜小説家になる方法〜』13巻 柳本光晴
- 『異世界宗教へようこそ!』 咲竹ちひろ
- 『君死ニタマフ事ナカレ』8~9巻 森山大輔 ほか
- 『銀の匙』15巻 荒川弘
- 『リウーを待ちながら』 朱戸アオ

そのほか続々入荷中!

館のご案内

開館時間 9:00~18:00
休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)
年末年始(12月28日~1月4日)

常設展示観覧料
一般410円
団体(20名以上)320円・65歳以上200円・高校生以下無料
身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は200円

お問い合わせ先
〒781-9529 高知市九反田2-1
高知市文化プラザかるぼーと内
横山隆一記念まんが館
TEL:088-883-5029
FAX:088-883-5049
URL:http://www.kfca.jp/mangan/
E-mail:mangan@kfca.jp



横山隆一記念まんが館へは、高知市文化プラザかるぼーと3階の入口よりご入場ください。